

●協定事業所一覧

阿蘇農業協同組合 (四季彩いちのみや、あぜり庵)
イオン九州株式会社 ホームワイド阿蘇店
エブリワン阿蘇市役所前店
株式会社古木常七商店
有限会社テラサワ
有限会社みやはら (内牧店、一の宮店)

市では身近に実践できるエコ活動の一つとして、レジ袋の削減を重点取り組みに掲げ推進しており、今回、「阿蘇市」、「事業者（左記）」、「廃棄物減量等推進協議会（武田賢次会長）」の3者により「阿蘇市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定締結式」を行いました。



レジ袋削減に向け協定締結
「阿蘇市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」

この協定は、協働してレジ袋削減に取り組むことを相互に確認するために締結されたもので、レジ袋辞退者へのキャッシュバックやポイント付与等により、マイバッグ持参率の向上を目指すこと等が盛り込まれています。

早速、3日から4日にかけて、廃棄物減量等推進協議会委員及び女性団体連絡協議会役員が、市内の小売店でマイバッグ利用マナー等のチラシ600枚を配布し啓発活動を行いました。

協定事業所は環境を守る取り組みとしてレジ袋削減を実践していきます。お買い物をされる際にはマイバッグを持参しましょう。

なお、協定参加店舗を引き続き募集しています。循環型社会を目指し、多くの事業者が

参加していただきますようお願いいたします。詳細は市民環境

課（☎22・3135）までお問い合わせ下さい。

課（☎22・3135）までお問い合わせ下さい。



▲啓発活動の様子。

阿蘇市長選挙の投票日は2月24日（日）です！

阿蘇市民の代表を選ぶ大切な選挙です。
自分の意思で投票しましょう！

投票時間：午前7時から午後6時まで

※荻の草、舞谷、深葉地区は午後4時まで

●問い合わせ 阿蘇市選挙管理委員会 ☎22-3239

●投票の方法

①当日の投票▶スタンプで候補者の該当欄に“○”を押印してください。

②期日前投票▶候補者名を記入してください。

③不在者投票▶候補者名を記入してください。

※選挙当日に投票所へ行けない方は、期日前投票や不在者投票の制度をご利用ください。

●期日前投票

投票期間：2月18日（日）～2月23日（土）

投票時間：毎日 午前8時30分～午後8時00分

投票場所：阿蘇市役所・内牧支所・波野支所

●立候補予定者説明会

日時：1月25日（金）午後2時

場所：阿蘇市役所 2階会議室

※立候補を予定されている方は必ずご出席ください。（代理人でも構いません。）

※各立候補予定者から5名以内でご出席ください。

※できる限り出納責任者（その予定者を含む）はご出席ください。

今月の **Pick up!**25 団体が参加した道路河川環境美化コンクール
最優秀賞は高柳の「和みの花みち会」

平成24年度道路河川環境美化コンクールの結果発表及び表彰式が12月5日、市役所で行われました。本年度は昨年より4団体多い25団体が参加。審査は高校生や各種団体、行政からなるメンバーで、現地審査も含め厳正に行われました。結果は右上のとおりです。

審査講評を宮川副市長が述べ「道路や河川敷のコスモスも高さに変化をつけるなどアレンジが見られた。最優秀賞の和みの花みち会は2kmの花道にゴミーつない。葉ものを活かした演出も良かった。いこいの村近くの道沿いは、植える花を毎年変えてあり通るのが楽しみ。花原川はあれだけの距離を日ごろから草刈し管理され頭が下がる」などレベルが上がってきていることに感謝の意を伝えました。

●審査結果

最優秀賞	和みの花みち会
優秀賞	うぶさん会、いこいの村通り花の会
佳作	おごもり花公園、西三区老人会、一里山組、古神二区、跡ヶ瀬野菊の会

最優秀賞を受賞した「和みの花みち会」

代表 大塚國勝さん 受賞団体代表謝辞

7月の豪雨で植えたばかりの花々が流出、会員宅も被災し地域の花づくりまでは無理かと思われたがこんな時こそ地域を明るくと会員が頑張ってくれた。今年は葉ものを取り入れ、雪の中の葉ボタンや農家からいただいたキャベツの苗も植えてみた。シソやコショウ、里芋、ナスなどの葉も面白く花が咲き、実もつけるのでウォーキングの皆さんに摘み取ってもらうのも面白い試みと思っています。私たちは道路と家の周りの自然と一体となった公園をつくり、ここでは人と人が和み交わる空間を創造できたらと思って活動しています。



冬の登山道路を花いっぱい！

坊中地区でロウバイを植栽



今回の取り組みの成功が祈願されました。

坊中地区では地域の活性化と観光客へのおもてなしとして、阿蘇駅から阿蘇ユースホステルまでの登山道路にロウバイ（蟬梅）を植栽しました。

この取り組みはNPO法人国際スポーツソサエティ（潮谷まこと理事長）の協力のもと、外国人など多くの観光客などが通る冬の登山道路を、明るくして楽しんでもらおうと1月から3月にかけて咲くロウバイ110本を植栽。今後は10万本を目指して植栽を続けていくとのことで、この企画を提案した潮谷文恵氏は「この取り組みが災害からの復興のシンボルになれば」と、期待を寄せていました。早ければ今冬にも花が咲き、すずらんに似た香りを漂わせます。

塩麴を使って阿蘇の特産品を！

阿蘇でキレイを形にする観光プロジェクト



「阿蘇でキレイ」をコンセプトに、観光客に阿蘇で滞在してもらい産品を消費してもらう取り組みを行う阿蘇市商工会（山部謙一郎会長）は11月26日、「塩麴」を使用した商品開発を行い、参加店舗などによる商品発表会を行いました。

この事業は国・県の採択を受けて昨年に引き続き展開されているもので、体に良いとされ全国的にブームとなっている塩麴に着目し、市内6事業所で8つの商品を開発。どの商品も塩麴との絶妙な組み合わせで工夫が凝らされており、山部会長は「どれも美味しい商品ばかり。商品化して阿蘇のお土産の目玉になれば」と、来春の商品化に向け期待と手応えを感じていました。

★輝く人たち!★

スポーツ・文化面などで活躍した人、表彰を受けた人をご紹介します。



▲市役所で行われた伝達式で、表彰状を受け取った園田富雄氏（右）。

長年の地方自治に功績。
元一の宮町議会議員 故園田武士氏に
旭日単光章

一の宮町議会議員を3期12年にわたり歴任し、地方自治の進展に大きな功績があったとして、故園田武士氏（西下原）が旭日単光章を授章されました。

園田氏は、昭和58年に一の宮町議会議員に当選以来、平成7年までの間、3期12年の永きにわたり在職。平成3年からの4年間は町議会副議長を務められ、当時の厳しい財政状況下において、健全財政の確立に献身的に尽力され、議会の円滑な運営に貢献されました。

12月14日に市役所で行われた伝達式には、ご子息である園田富雄氏が出席され、「多くの方々にお世話になってこのような章をもらうことができました。」と、感謝されていました。



▲農業食品科の藤川翔也さん（左）と佐渡香恋さん。「豪雨災害で多くの水田で被害がある中で、阿蘇の米が日本一となって嬉しい。休みの日にも管理してきたことが金賞という結果に繋がった。」と喜びを語ってくれました。

阿蘇のお米が日本一！
「お米甲子園」で2度目の金賞。

全国の農業高校が参加し、米の評価を競う「全国農業高校お米甲子園」において、阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎農業食品科1年生が栽培した米「品種・にこまる」が、参加63校105品が出品される中、最高位の金賞を受賞しました。一昨年には受賞し今回2度目。また、今回は審査員の得票数でもトップとなり、名実ともに阿蘇のお米が日本一に輝きました。

今回、受賞した米「にこまる」は、前回金賞を獲得したヒノヒカリを品種改良したもので光沢、ねばり、香りが良いのが特徴。「阿蘇の水も豊富で環境に恵まれており、手間暇をかける分良い米ができる。」と話すのは同校の後藤至成教諭。実際に無化学肥料、無農薬で育てられ、除草も手取り作業で丁寧に管理してきたとのこと。

「これを機に、阿蘇のお米は美味しいということを知ってもらえれば」と、今後は5年連続入賞時に与えられるダイヤモンド賞を目指して取り組んでいきたいと話されました。



▲阿蘇西小学校PTAの皆さん。

阿蘇西小学校PTAが
優良PTA文部科学大臣表彰を受賞

この度、阿蘇西小学校PTA（山本昭仁会長）が優良PTA文部科学大臣表彰を受賞し、東京都のホテルで行われた授賞式で表彰状が授与されました。今年度は熊本県から同校を含む3校が選ばれました。

同校ではアイガモ農法による米作りや梅枝ぎり、お茶摘みなど、数十年前から児童の体験活動が盛んで、保護者の協力や支援が充実しており、さらに家庭学習などにおける学校と家庭との連携等も評価されました。

山本会長は、『これまで長年にわたり阿蘇西小を支えていただいた代々のPTA会員の皆様や地域の皆様のおかげで受賞したものと感謝している。これからも学校と連携を深め、様々な活動を通して子どもたちの生きる力を育むために支援していきたい。』と話されていました。

八代亜紀さんが仮設住宅を訪問

被災された方々を励まし交流



歌手の八代亜紀さんが12月1日、被災した方々を直接会って元気づけたいと、宮地の仮設住宅を訪れ、絵本の読み聞かせや対話を通じて被災した方々と交流し励ましました。

八代さんは復興支援ライブ出演の前日に訪ねられたもので、翌日、大津町文化ホールで行われた「くまもと復興支援ライブ」では、八代亜紀さんはじめ県出身の音楽家の方々が出演し、阿蘇市や熊本市で被災した方々を招待し、歌や音楽で皆さんを励ましました。

阿蘇市消防団が水防功労で大臣表彰 豪雨災害時の懸命な活動が評価

阿蘇市消防団が、平成24年度水防功労者国土交通省大臣表彰を受賞し、その表彰式が11月30日、東京都で行われ、代表して古澤志喜男団長が出席しました。本年度は全国で14団体16個人が表彰されています。

阿蘇市消防団は7月12日の豪雨の際、暗闇で大雨と雷が鳴り響く中、危険を顧みず住民の避難誘導や救助に全力を尽くし、住民の生命を第一に勇敢かつ懸命に活動しました。その後も、行方不明者の搜索や災害瓦礫等の撤去、避難指示区域の巡回など昼夜19日間にわたり、延べ3484人もが出動しています。



▲表彰状を受ける古澤団長。

豪雨災害調査・研究成果を発表

第3回日本ジオパーク全国大会に阿蘇中央高



阿蘇中央高校阿蘇校舎科学部の生徒3名が、11月2日から4日にかけて高知県室戸市で行われた「第3回日本ジオパーク全国大会」高校生セッションに出席し、阿蘇ジオパークを代表して発表を行いました。

生徒たちは、7月に発生した豪雨災害をうけ、阿蘇の地形や被害状況について調査、研究した成果を、全国各地から参加した高校生の前で発表しました。

今回の高校生セッションでは、東日本大震災で大きな被害を受けた、いわて三陸ジオパークの高校生からの発表もあり、各地のジオパークや地域の災害について共有し、これからジオパーク活動を通して高校生ができることについてグループディスカッションなども行われました。

スポーツの力を復興に！

アゼリア21で阿蘇市復興支援イベント



柴田亜衣さんによる水泳教室の様子。

豪雨災害からの復興をスポーツの力で支援しようと、アゼリア21で12月9日、各種スポーツ教室等のイベントが開催されました。

イベントではオリンピック水泳金メダリスト柴田亜衣さんによる水泳教室や、体操銅メダリスト松永政行さんによる体操教室、ロアッソ熊本のサッカー教室などが催され、参加した子どもたちは楽しみながらも、プロの技術を学ぼうと真剣な面持ちで取り組んでいました。

また、午後からは熊本県出身力士による大銀杏髪結い実演披露のほか、ちゃんこ鍋などが振る舞われ、訪れた市民の皆さんは舌鼓を打っていました。